

NetCOBOL for Windows V7.0

NetCOBOLマニュアル

COBOLで記述したプログラムの開発から実行までに必要な情報を、以下のマニュアルで説明しています。COBOLをご使用になる場合の基本事項を記載していますので、ご一読の上、適宜ご参照ください。

[COBOL 文法書](#)

COBOLでプログラムを作成するための規則(文法)を説明しています。COBOLプログラムの作成者は、正しいコーディングをするために、取り扱うデータの定義や実行する文について、本書を参照してください。

[NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0](#)

COBOLで記述したプログラムから実行形式ファイルを作成する方法、プログラムの実行やデバッグ方法、COBOLファイルの扱いおよび印刷に関する設定方法などを説明しています。COBOLプログラムの作成者または利用者は、プログラムを正常に動作させるために、各種設定方法や取り扱いについて、本書を参照してください。

[NetCOBOL 例題プログラム](#)

本製品は、各機能の使用方法およびCOBOLプログラムの作成方法について具体的に解説するために、サンプルプログラムを添付しています。サンプルプログラムの解説および実行方法については、本書を参照してください。

NetCOBOL Webマニュアル

COBOLでWebアプリケーションを作成する場合に、以下のマニュアルを参照してください。

[NetCOBOL Web連携ガイド](#)

COBOLがサポートするWeb連携機能および、各種WWWサーバの特徴について概要を説明しています。はじめに参照してください。

[COBOL Webサブルーチン使用手引書](#)

サブルーチンを使用したWebアプリケーションを作成、実行およびデバッグする場合に参照してください。

[COBOL ファイルアクセスルーチン使用手引書](#)

COBOLファイルをC言語のアプリケーションから操作する場合に参照してください。

機能追加履歴

	COM機能のオブジェクト指定子
COMのAS修飾サポート	<p data-bbox="705 1648 1407 1937">COM機能においても、オブジェクト指定子が使用できるようになりました。これにより、レイトバインド型が保持するオブジェクト参照を、アーリバインド型に代入できるようになるため、従来はレイトバインドでCOM連携せざるを得なかった場面でも、アーリバインドが使えるようになります。さらに、従来は許されなかったアーリバインド型からレイトバインド型へのオブジェクト参照の代入も、使用できるようになりました。</p> <p data-bbox="705 1971 1407 2038">NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “ 26.2.9 オブジェクト指定子 ”</p>

PowerSORT連携強化	<p>PowerSORTが使用するメモリ空間のサイズを指定する機能</p> <p>SORT文およびMERGE文から呼出されるPowerSORTが使用するメモリ空間の容量を、COBOLアプリケーションから指定することが可能になりました。</p> <p>NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “A.2.43 SMSIZE (PowerSORTが使用するメモリ容量を指定) ”</p>
パラメタ不整合チェック強化	<p>パラメタ不整合チェック強化</p> <p>CHECK(PRM)オプションを指定することにより、内部プログラムを呼び出すCALL文のパラメタ不整合を翻訳時にチェックします。原因究明が困難であったパラメタ不整合のトラブルを事前に防ぐことができます。</p> <p>NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “A.2.4 CHECK (CHECK機能の使用の可否) ”</p>
リモートデバッグ	<p>リモートデバッグ</p> <p>リモートデバッグによって、ネットワーク上の別のコンピュータで動作するプログラムをデバッグすることができるようになります。これによって、InterstageやWWWサーバなどのサーバ環境で動作するCOBOLプログラムのデバッグを、普段使用しているWindows環境からデバッグできるようになり、高価なサーバ環境を開発者ごとに用意しなくても、複数名の開発者が同時にデバッグを行えるようになります。</p> <p>NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “19.9 対話型リモートデバッグの使い方 ”</p>
電子フォームアプリケーションのフレームワーク対応	<p>Apccordinatorが提供する電子フォームアプリケーションのフレームワーク(Formccordinator)をCOBOLアプリケーションで利用できます。NetCOBOL XMLオプション解説書を参照してください。</p>
文字コード系	<p>文字コード系</p> <p>COBOLで文字型のデータを表現するために用いられるコード系について、説明します。</p> <p>NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “付録N 文字コード系 ”</p>
UNIX分散開発支援機能	<p>UNIX分散開発支援機能</p> <p>UNIX系システムで動作するアプリケーションの開発をWindows版製品を使用して行うことがより容易に行えるようになりました。</p> <p>NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “付録0.2 分散開発支援機能 ”</p>
セキュリティ対応	<p>セキュリティ対応</p> <p>セキュリティに関する留意事項を記載しました。COBOLアプリケーションをご使用になる場合のセキュリティ対策に役立ちま</p>

	す。 NetCOBOL 使用手引書 for Windows V7.0 “ 付録P セキュリティ ”
--	---

All Rights Reserved, Copyright (C) 富士通株式会社 1992-2002